

議事2 宿泊事業者との意見交換会開催結果報告について

1. 開催日時及び場所

(1) 日時

令和6年10月2日(水) 11時00分～

(2) 会場

勤労者総合福祉センター（ソレイユ） 研修室A・B

2. 参加者

(1) 宿泊事業者

6事業者

- ホテル網走湖荘
- HOTELオホーツク・イン
- 東横INNオホーツク・網走駅前
- 株式会社写真工芸社（The Lodge Abashiri）
- ペンション わにの家
- 網走まちなかゲストハウスWATARA

(2) その他

1名

- 一般社団法人 網走市観光協会

3. 参加者からの意見等と市の考え

No.	論点	意見等	市の考え
1	制度設計	新税の名称は、宿泊税で決まりなのか。	北海道は宿泊税という名称で、徴収する予定になっていることと、現在他の市町村で検討している宿泊税という名称を考慮して、宿泊税とするのが妥当だと考えております。
2	制度設計	食事付きの宿泊の場合は、宿泊代と食事代を合算してお客さんから徴収するが、食事代も合わせて課税対象になるのか。定額の場合問題ないが、段階的になると変動してくると思う。	北海道で考えている段階的定額制を採用した場合は、食事代金を差し引いた額に宿泊税が課税されることになるかと認識しています。
3	制度設計	観光客だけでなく、ビジネス客からも徴収する必要があるのか。	観光客とビジネス客を区分するのが困難なことと、ビジネス客についても、観光するケースもあると認識しておりますので、宿泊された方には、公平にご負担をお願いしたいと考えております。

No.	論点	意見等	市の考え
4	制度設計	観光インフラの充実と強化は、網走に本当に必要なのかと思っている。宿泊税の用途を明確化した上で、200円が良いのかもう少し高いほうが良いのかを再検討して行く必要があると思う。	市内宿泊施設より税率など制度設計は周辺地域と同じにしてほしいという声があります。現在定額制の採用を検討している道内の自治体は、全て一律200円と認識しています。また、宿泊事業者ができない観光客の受入環境整備を基礎自治体が行うことは必要だと考えています。税額については、今後の情勢変化など必要に応じて適宜見直しの必要性を認識しております。
5	徴収事務	一律200円が妥当なのか。	北海道の段階的定額制にプラス 200円をすることが税収の確保と簡素化の部分で適正と判断しています。
6	徴収事務	宿泊税の徴収方法については、個々の宿泊事業者に任せるのか、それとも市として定めるのか。	各宿泊事業者で宿泊料金の様々な支払い方法があるため、市として宿泊税の支払い方法を定めることはありません。各宿泊事業者で適切な方法の徴収をお願いしたいと考えております。
7	徴収事務	宿泊予約は、ネットが多く、手数料もあるため、全て込みにすると宿泊事業者の負担になってしまう。宿泊料金と宿泊税は別でもらった方が良く考える。	徴収は、宿泊事業者に担っていただくこととなりますが、宿泊の予約段階と領収書は宿泊料金と宿泊税の金額がそれぞれわかる形が望ましいと考えております。また、宿泊税の申告と納入に要する事務負担については、北海道同様、特別徴収事務交付金の交付を検討しておりますので、その中でご対応いただければと考えております。
8	制度設計	入湯税と宿泊税の複数の税を徴収することについて、どのように整理しているのか。	宿泊税については、地域資源の磨き上げや魅力向上、持続可能な観光地づくり、受入環境の充実を目的に活用したいと考えています。入湯税については、鉱泉浴場における入湯に対し課税する税金であり、環境衛生施設の整備や鉱泉源の保護管理施設の整備、観光の振興を目的としており、それぞれ目的が異なりますので、お客様に説明できるようマニュアル等を作成していきたいと考えております。
9	用途	町の魅力を作るといのは何十年も前から一生懸命やってきたが途中で終わっている。ロングランのイベントは人も集まりやすいが、短いイベントは一時で終わってしまう。一度、原点に帰って過去のイベントを研究することも必要。流氷やサンゴ草などの自然のものに頼って観光をアピールしていくというのも大事だと思う。	市特有の自然を活かした観光資源の重要性については、認識しております。ご指摘のとおり過去には冬季ロングランイベントを実施し多くの集客がありました。宿泊税の観光客誘致や宿泊日数を増やすためには、地域の磨き上げが重要と認識しており、具体的な取り組みについては、毎年度の予算編成において検討していきたいと考えております。

No.	論点	意見等	市の考え
10	使途	宿泊税の税込7千万円で何を作りたいか。5年計画で観光でやりたいことを明確化してほしい。	概ね5年間で取り組むことを観光振興計画を策定し進めています。その中で、宿泊税の使途や方向感をお示ししたいと考えております。
11	使途	フリーWi-Fiなどのインフラ強化を充実すべき。	フリーWi-Fiなどのインフラ強化は、「持続可能な観光地づくり」の観光DXに関わる使途に該当すると認識しております。
12	周知	宿泊税を導入して複数の税金があることは、日本人には説明しやすいが、外国人に説明するのは難しく心配。	北海道でも宿泊税を徴収することに関する周知の部分は予算をかけて行おうとしています。多言語での周知も含めて、適切な周知方法を検討したいと考えております。
13	その他	ウトロ地区のお客さんが溢れた段階で網走に入ってくると思うので、ウトロ地区が宿泊税を取るのか知りたい。	確定情報ではありませんが、斜里町ではコロナ禍前から宿泊税の導入を検討されており、定率制の導入を検討されていたと聞いております。しかし現在は、宿泊税ではなく入湯税の超過課税を検討していると聞いています。
14	その他	宿泊税の導入により、宿泊者がどれくらい増えるのか試算はあるのか？また宿泊事業者にメリットはあるのか。	宿泊客がどの程度増えるのかについては、具体的な数値は試算できておりませんが、観光の新たな事業や、既存の観光事業のブラッシュアップによる効果で観光客が増加することを想定しています。行政で行わなければならない観光インフラの整備や観光客が利用するバスやタクシーの台数の確保など、観光客がもっと円滑に市内観光が行える仕組み作りや、今まで以上に観光客の満足度向上を図ることができる施策を推進することで滞在時間や宿泊日数を増やし、宿泊事業者のメリットにつなげていきたいと考えています。

No.	論点	意見等	市の考え
15	その他	コロナ禍で観光客が減少しているが、コロナ禍以前の状態に戻ってもいない理由については分析しているのか。宿泊税を取ったとしても何か策を取らないと観光客は来ないのでは。	これまで閑散期などは食を使ったイベントを通じて観光客の誘客に努めていますが、他の自治体も様々な取り組みをしている中で、お客さんの取り合いになっており、今まで以上に、市としての磨き上げが必要であると認識しています。 また、インバウンドの戻りが遅いことについては、航空便の直行便がつながっている町の周辺は比較的回復は早いですが、網走周辺については、ウトロ地区の観光客が戻りきっていない影響など、様々な要素があると思いますが、いずれにしても市の魅力を高めていかないといけないと考えており、そのためには、宿泊税を使ったコンテンツの磨き上げなど魅力向上の取り組みが重要であると考えております。